

平成29年度 事業計画

I はじめに

シルバー人材センターは国の高齢者就業機会確保事業を行う組織として、そして高年齢者の雇用の安定等に関する法律に基づき平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン1億総活躍プラン」を担う組織として活躍が期待されております。

角田市シルバー人材センターはこれに対応し、役職員および会員一同が一丸となり地域のシルバー世代に会員登録を促し、地域の就業機会の開拓拡大に取り組む。会員の加入促進と就業拡大により、地域の要求・要請に見合った働き方を一般家庭・地元商店・地元企業そして公共団体から受託事業または派遣事業として受注し、会員の就業機会確保を進めることで、多様な働き方を通じ地域に貢献して行くものである。

企画提案事業の街なか交流サロン「ひだまり」は開所から3年が経過し、角田市から地域高齢者交流サロンとして事業内容を認められ、今年度から業務委託事業となり、さらなる地域の交流拠点として進められる事となった。

これまで培ってきた事業内容に加え「脳の健康教室」「いきいき100歳健康体操」等のさらなる充実を図り地域の高齢者や市民の方たちが自主的に参加しやすい交流活動を推し進める。

ワンコインサービス事業「おでって隊」は、企画から4年目を迎え、お話し相手・散歩の付添・ごみ出し・お米の精米など地域のちょっとした困りごとの解決をするものである。これらは、おでって隊員が地域の中で生活支援「助け合い（おでって）」を組織的に行うことで地域に根差した連携を図り広域的な活動を進めることである。年度を重ねるごとに就業機会が増えて来た。今後は、おでって隊員の増員を図り、事業の拡大を推し進める。

「空き家・空き地の見回り管理事業」については、角田市ならびに不動産会社と連携を保ちながら事業の拡大に努めて行く。

「総合支援事業」に関しては、現在、角田シルバー人材センターが取り組んでいる家事援助サービス事業・街なか交流サロン「ひだまり」・おでって隊そしてボランティア事業を総合的に組み立て、角田市や各種団体と連携し、地域に根ざした取り組みを行っていくものである。

今年度からは、受託事業に加え派遣事業も本格的に推し進め、公益社団法人としての内部統治意識を高めるとともに、公認会計士・社会保険労務士等の指導を受け、事業強化を図って行く。

II 具体目標

i 受託事業	平成29年度目標	平成28年度目標
1 件数	2,500件	2,610件
2 就業延べ人数	35,000人日	38,400人日
3 契約金額	183,000千円	195,000千円
ii 一般労働者派遣事業		
1 件数	70件	20件
2 就業延べ人数	5,000人日	
3 契約金額	35,000千円	19,000千円
iii 会員数・就業率		
1 会員数	460名	450名
	(うち派遣会員 90名)	(うち派遣会員 45名)
2 就業率	95%	92%

III 基盤拡大事業

1 受託事業

事業計画の具体的目標に向けて、理事長はじめ各理事、会員そして職員が一体となり、それぞれの就業機会開拓力を十分発揮する。また過去に受注したデータを掘り起し、顧客からの受注を目指し取り組むことによってさらなる受注の拡大を図る。

2 会員組織の充実

会員の自主的・自立的な組織活動に積極的な参加を図る。

- ・ 地域班活動の充実(班会議の定例化・ボランティア活動を通じての連携強化)
- ・ 職域班の定期的な研修(部外講師による研修・シルバー内自主研修
他シルバー人材センターへの移動研修の実施)

3 普及啓発活動の推進

広報委員会を構成し下記の事項を推し進める。

地域にあらゆる方法で当センターの存在をアピールし、事業拡大・就業拡大を図るための普及啓発活動を積極的に展開する。

- ・ 角田市シルバー人材センターの事業紹介のミニコミ誌を作成する。
- ・ 広報かくだ(角田市)・河北あんふにい(目黒新聞店)に事業内容説明や会員募集の掲載を依頼する。
- ・ 会報「角田シルバー」を年1回発行し、事業内容や会員就業状況等を掲載し毎年1回角田市内のご家庭へ配布する。

- ・ 事業内容の紹介記事・会員募集を掲載したチラシを作成し、広報かくだ・新聞等に折り込む。

4 安全就業の徹底

安全管理委員会を構成し下記の事項を推し進める。

「安全は身を守るもの、縛るものではない」という意識を会員全員が持ち就業中や通勤中の安全対策を図る。草刈班・剪定班については一度事故が発生すれば重篤事故に結びつきやすいので「安全就業マニュアル」「ヒヤリハット表」を用い安全就業に対する意識を高める。派遣事業における「自動車運転就業」については定期的に安全運転に対する研修会を実施し安全運転就業に対する意識を高める。

- ・ 熱中症予防講習会の実施（6月定時総会開催時）
- ・ 安全就業強化月間の制定（7月）
- ・ 安全管理委員会の現場パトロールの実施。（7月毎水曜日
8月～11月第1水曜日）
- ・ 草刈班・剪定班・除草班の機械点検実施および部外講師による研修会の実施。
- ・ 安全祈願祭の実施。
- ・ 車両運転就業者の交通安全研修の実施（春・秋の交通安全週間内
角田警察署・角田自動車学校協力）
- ・ 安全就業「必携ハンドブック」携帯の徹底
- ・ 会員は、必ず年1回健康診断を受診し、必要に応じて就業開始時に検診内容の写しの提出を求める。

5 就業機会の確保

常に、就業の機会が会員全員に行き渡るように意識を持つ。

- ・ 未就業会員への呼びかけ。班長・地区世話人を通じての就業機会の相談。
- ・ 角田シルバー・ひだまりへの就業会員の募集公告の掲示。
- ・ 既就業・未就業企業への定期的な訪問による就業拡大を図る。

6 福祉・家事援助の充実

超高齢化社会に対応すべく事業の充実を図る。

- (1) 高齢者世帯への家事援助サービス事業の推進
- (2) 軽度生活援助事業の推進
- (3) 福祉サービス会員の入会促進

7 調査研究活動

角田市民・利用者・事業者に対し、就業状況や接遇対応に関するアンケートの実施。

- ・ 就業に対する発注者満足度アンケート。
- ・ 会員の就業に関する満足度アンケート。

8 技能訓練研修の実施

就業要請に対応して行くための技能能力向上を図る。

- ・ 植木剪定初級コース講習会の実施。(剪定班会員の講師要請)。
- ・ 刈払機(草刈り)取り扱い講習会の実施。(草刈り班会員の講師要請)。
- ・ 自動車運転技術向上のための講習会の実施。(角田自動車学校への要請)。

9 地域ボランティア事業

ボランティア活動を通じて、地域社会と会員同士の連携を図る。

- ・ 角田市内各地域班地区の拠点施設の清掃・除草等の作業。
- ・ 阿武隈リバーサイドマラソンコースの清掃・草刈り作業(10月第3土曜日)。
- ・ 市内各所における昔遊びの伝承。
- ・ 角田市保健福祉まつりへの参加。

10 会員の福利厚生

- ・ 会員親睦旅行を年1回実施し、会員相互の親睦・融和・協調を図る。
- ・ 会員の年齢や身体状況に応じて就業内容の見直しなどを行い就業体制を整える

IV 地域就業機会創出・拡大事業

1 地域就業機会の創出

- ・ 「空き家・空き地の見回り事業」について、角田市ならびに不動産会社と連携を保ちながら地域の環境整備の一躍を担う。
- ・ 角田市商工会とは、地域就業拡大の協議を重ね、地元商店の人手不足問題や、地域経済活性化、そして地域社会の維持・発展につながる事業を推し進め就業の充実を図る。

2 総合支援事業への対応について

総合支援委員会を構成し下記の事項を推し進める。

角田市が取り組む総合支援事業に各種団体と緊密な連携を図りながら、福祉家事援助事業やボランティア事業を総合的に組み立て角田市シルバー人材センターの総合支援事業として、また生活支援コーディネーター養成研修等の受講を奨励し、さらなる内容の充実を図る。

V 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

1 一般派遣事業

派遣事業は適正就業の取り組みには不可欠の就業形態であり、会員の就業拡大にも結び付くことから発注者の理解を得ながら、たとえ短期間の就業に関しても積極的な対応を図る。

- ・ スキルアップや安全就業のための、教育訓練や講習会の実施。
- ・ 有給休暇の適正な管理。

- ・ 社会保険労務士の配備。

以上の各条件を整えて派遣会員に安全かつ安心して就業できるように図る。